様式１－２（その他の浴場（風営法適用浴場）用）

公衆浴場の構造設備の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 施設の名称 |  |
| 施設の構造・面積 | 構造： |
| 敷地面積： | 建物面積：　　　 |
| 営業時間 |  |
| 待合室 | 床面における照度 | ルクス　　　　 |
| 廊下 | 床面における照度 | ルクス　　　　 |
| 個室 | 個室の数 | 室　　　　　 |
| 床面積 | 最も大きい部屋 | 最も小さい部屋　　 　 |
| 浴槽の数 | 最も多い部屋　　　　　　 個 | 最も少ない部屋　　　　個 |
| シャワーの数 | 最も多い部屋　　　　　　 個 | 最も少ない部屋　　　　個 |
| 出入り口のサイズ | 縦　　　　　　　　　ｍ、横　　　　　　　　ｍ |
| 出入り口の扉 | □有　　　　　　□無 |
| ※有の場合、以下を記載する通路の床面から高さ（　　）ｍを底辺として、縦（　　）ｍ、横（　　）ｍの無色透明の（　　　　　　＊材質を記入）の窓を設けた。 |
| 照明の色/床面における照度 |  | ルクス |
| 脱衣場の照明の種類と数 | 　 | 　　　 個 |
| 洗い場の照明の種類/数 | 　 | 個 |
| 脱衣場の換気設備 | □有　　　　　　□無 |
| 洗い場の換気設備 |  □有　　　　　　□無 |
| 浴槽の材質 |  |
| 洗い場の材質 |   |
| 洗い場の勾配 |  |
| 洗い場の排水溝の覆い蓋の材質 |  |
| 排水の処理方法 | □下水道　 □その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 上がり用湯栓/上がり用水栓/混合栓の数 | 個 | 個 | 個 |
| 浴室の屋外に面する窓の有無 | □有　　　　　　□無 |
| 処置方法 | ※有の場合、人影が見えないようにするための処置方法を記載する |
| マッサージ台の有無 | □有　　　　　　□無 |
| ※有の場合、以下を記載するマッサージ台の高さ　　　　　　　　　ｍ |
| 便所 | 入浴者用便器の数 | 個　  |
| 便器/便槽の材質 |  |  |
| 流水式手洗設備の設置場所 | □有　　　　　　□無 |
| 確認事項 | 次の１～１１の項目に該当する場合は、□に✓を記入する |
| １　浴槽水の再利用している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
| ２　ろ過器を設置している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
| ろ過器 |  | 浴槽名 | 型式 | 集毛器の設置位置 | ろ過能力 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ろ材の管理方法 |  |
| ⑴　浴槽における原湯、原水の注入口は、循環配管に接続せず、浴槽水面上部から浴槽に落とし込む構造である | □ |
| ⑵　循環してろ過された湯水が浴槽の底部に近い部分から補給される構造である | 　□ |
| ⑶　浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤等の注入又は投入口は、浴槽水がろ過器内に入る直前に設けている | □ |
| ３　貯湯槽を設置している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
|  | ⑴　通常の使用状態において、湯の補給口、底部等に至るまで摂氏60度以上に保ち、かつ、最大使用時においても摂氏55度以上に保つ能力を有する加温装置を備え、これにより難い場合には、貯湯槽内の湯水を消毒する設備を備えている | □ |
|  | ⑵　完全に排水できる構造である | □ |
| ４　オーバーフロー水及び回収槽内の水を浴用に供する構造である　　　　　□有　　　□無　 |
|  | ※有の場合、以下を記入するオーバーフロー還水管（オーバーフロー水を回収槽に導く配管をいう。）は、直接循環配管に接続しない構造とし、回収槽は、地下埋設を避け、内部の清掃が容易に行える位置又は構造とし、回収槽内の水を浴槽水とは別に適切な方法で消毒できる設備を設けている | □ |
| ５　気泡発生装置、ジェット噴射装置等微小な水粒を発生させる設備を設けている□有　　　□無 |
|  | ⑴　連日使用している浴槽水を用いる構造ではない | □ |
|  | ⑵　点検、清掃及び排水を容易に行うことができる構造である | □ |
|  | ⑶　空気取込口から土ぼこり、浴槽水等が入らないような構造である | □ |
| ６　シャワー設備を設置している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
|  | ⑴　適当な温度の湯を供給でき、湯の温度を調節できるものである | □ |
|  | ⑵　立位で使用するシャワー設備は、シャワー水が浴槽及び入浴者にかからないよう、十分な距離を設けている、又はカーテン等を備えている | □ |
| ７　打たせ湯及びシャワーを設置している　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無　 |
|  | 循環している浴槽水を用いる構造ではない | □ |
| ８　水位計を設けている　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
|  | ⑴　配管内を洗浄及び消毒できる構造である | □ |
|  | ⑵　配管等を要しないセンサー方式である | □ |
| ９　調節箱を設けている　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
|  | ⑴　清掃しやすい構造である | □ |
| 　　 | ⑵　薬剤注入口を設けるなど塩素消毒ができる | □ |
| １０　配管内の浴槽水を完全に排水できる構造である　　　　　　　　　　　□有　　　□無 |
| １１　屋外に浴槽を設けている　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□有　　　□無　　　 |
|  | 屋外の浴槽内の湯水が配管等を通じて屋内の浴槽に混じることのない構造である | □ |

注： この様式に記入しきれない場合は、別紙に記載すること。